

# 同志社大学

## 2011年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2012年 3 月 16 日提出

所 属	職 名	氏 名
心理学部	教授	内山伊知郎
研 究 題 目	乳幼児期における認知・感情・行動発達の機能的解明	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本研究は、乳児の行動発達が認知・感情発達と関連する様相を解明する目的で実施している。これまでの研究において、乳児期の自己移動（はいはい）と自己受容感覚の関連性を検討しているが、今回、Anderson, Campos, Barbu-Roth, &amp; Uchiyama(1999)によって開発された PMD (Powered Mobile Device, 電動乳児用車) を補助器具として与えることによる自己移動経験の豊富化訓練の効果についての検討を新たな実験計画により進めた。</p> <p>そのプレ段階として、今年度はジョイントアテンション、フォーム・エクストラクション課題の手続きを精緻化し、基礎データを集積している。その研究成果は、2012年6月に米国に於いて開催される国際赤ちゃん学会 (ICIS) において発表予定であり、また、米国における学術誌に投稿するよう準備を進めている。</p>	